



16歳で修士課程を修了、早熟の天才としてフランスで話題沸騰
「世界を変える若者の一人」として雑誌でも紹介

数年後には確実にこの値段では聴けない大物になるでしょう。是非今のうちに…

マリー＝アンジュ・グッチ (ピアノ)

Marie-Ange Nguci, Piano

1997年東ヨーロッパのアルバニア生まれ。幼少からピアノを始め、13歳でパリ国立高等音楽院ピアノ科に飛び級入学。ニコラ・アンゲリッシュに師事し、16歳にて最上位優等成績・審査員満場一致で修士課程を卒業する。後に音楽学と分析の分野にて同音楽院の博士課程ならびにソルボンヌ大学の修士課程で研鑽を積むほか、ウィーン国立音楽大学にて指揮法も学び、ライン・ゴールド・ファンデーション、ニューヨークのフレンチ＝アメリカンピアノソサエティ、ヤマハ音楽振興会等から奨学金を得る。また、7か国語を使いこなす才媛で、ヴァニティ・フェア誌(米)のフランス版に「世界を変える若者」の一人として紹介された。

2011年フランス・ラニー・シュル・マンヌ国際ピアノコンクールでコンクールデビューを果たして優勝。続いて2015年ニューヨークのIKIF国際ピアノコンクールでも第1位を飾るほか、最近では2018年スイス・ジュネーブ芸術協会国際ピアノコンクールにて優勝ならびに最優秀賞を受賞するなど出場するコンクールで全て1位を獲得している。

2017年初のアルバム「鏡 EN MIROIR」(MIRARE)をリリース。「クラシック音楽界への衝撃」「まさに純度の高いダイヤモンド。高度な技巧の上に

成熟な音楽性と創作力、全てにおいて彼女は年齢を超える才能を見せた。未来の可能性を示すだけでなく、すでに完成されたアーティストだ。」(クラシカ・マガジン)、「完璧だ。マリー＝アンジュのアルバムを聴いた第一印象は誰でもそう思うだろう。豊富な響きと多彩な音色はピアノの表現領域を超越し、オルガンの響きを思い起こさせる。」(ル・フィガロ)とフランスの各誌で絶賛を博した。2つ目のアルバムも現在制作に掛かり、本年度にリリースされる予定。

パリのフィルハーモニーやシャンゼリゼ劇場をはじめフランス各地で演奏活動を行うほか、イギリス、ドイツ、スイスなどヨーロッパ各地でリサイタルを開催。ベートーヴェン・フェストやフランクフルト・ミュージックメッセ等各国の音楽祭にも数多く招聘され、2018年にはラ・フォル・ジュルネ東京で初来日を果たし、大絶賛を博した上、2019年も同音楽祭の招聘で再来日。

レパートリーは幅広く、バロックから古典・ロマン派、フランス作品からティエリー・エスケシュ、ブルーノ・マントヴァーニ、ジェラルド・フィンジ等の現代作品も幅広く手掛けている。

宗次ホールのご情報はこちら!

当日券情報 などつぶやいています!

twitter



<https://twitter.com/munetsuguhall>



他にも各SNSにて情報発信中!

フォロー
お待ちして
あります

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業